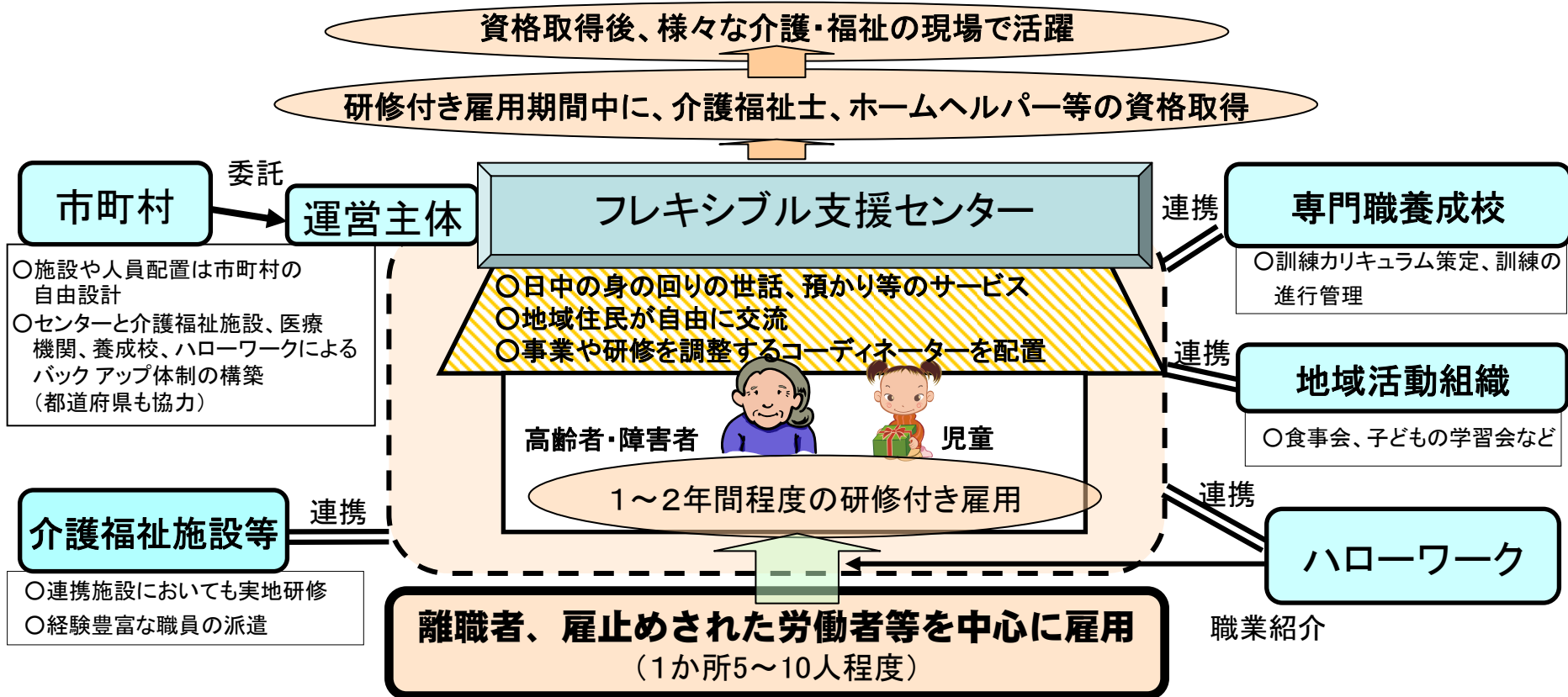


フレキシブル支援センターのイメージ

1. **フレキシブルな支援**＝日中のお世話や預かりサービスが必要な人は誰でも受け入れ(「縦割り」を超え、サービスの隙間がない)。
2. **離職者等の現場訓練(OJT)の場**＝センターや連携施設、養成校での訓練を通じ、介護・福祉分野への就職・キャリアアップを支援する場とする。
3. **地域に密着した運営**＝市町村が設置し、地元の社会福祉法人やNPO法人、民間企業等に運営委託。ハローワーク、他の介護福祉施設、専門職養成校が一体となり、地域ぐるみで対応。
4. **スピード感のある対応**＝緊急経済対策の財源を活用。既存施設の使用等により迅速な対応を実現。当面、3年間の制度として実施。



- 〈先行事例〉
- 北海道・コミュニティハウス構想（北海道庁が道州制特区で要望中。対象者を限定しない、必要な人が誰でも使えるハウス。釧路「コミュニティハウス冬月荘」の試行）
 - 富山・宅老所「このゆびと一まれ」（高齢者だけでなく、子どもや障害者も一緒にお世話をしている）



朝はお出迎え



一緒に食事をしたり、

勉強をしたり、
自分達で決めた
レクをしたりして、
一日を過ごします。

併設型フレキシブル支援センターの実施例

1. 高齢者のデイサービスセンター等に併設して実施する方法(案)

高齢者のデイサービスセンター等にフレキシブル支援センターを併設し、要介護(要支援)高齢者のほかに、支援の必要な地域の障害者や子ども等を受け入れ、多世代の交流の場や居場所づくりをモデル的に実施するとともに、地域で雇用を創出する。

既存 高齢者のデイサービスセンター(例)

(実利用者1日20人程度の場合)

(事業内容)

要介護者を通わせ、入浴、排せつ、食事等の介護や創作的活動、機能訓練などを行う。

(利用料) 1割負担+食事や創作活動の材料費等の実費負担

(運営費) 介護報酬

(職員配置) 5人

生活相談員1人、看護職員1人、介護職員2人

機能訓練指導員1人

一般高齢者等のミニデイ

(事業内容)

レクリエーション、創作活動等

(運営費)

市町村の委託料等

(地域支援事業)

移行

フレキシブル支援センター 利用定員20人程度

(対象者) 支援の必要な障害者、子ども、高齢者等

(支援内容) 日中の預かり、見守り、身の回りの世話、介護予防や自立支援に向けた取り組み等を行う。



(利用料) 無料(食事や創作活動の材料費等は実費負担)

(運営費) 市町村からの委託料 年2,500万円程度

(職員配置) コーディネーター1人、生活支援員1人

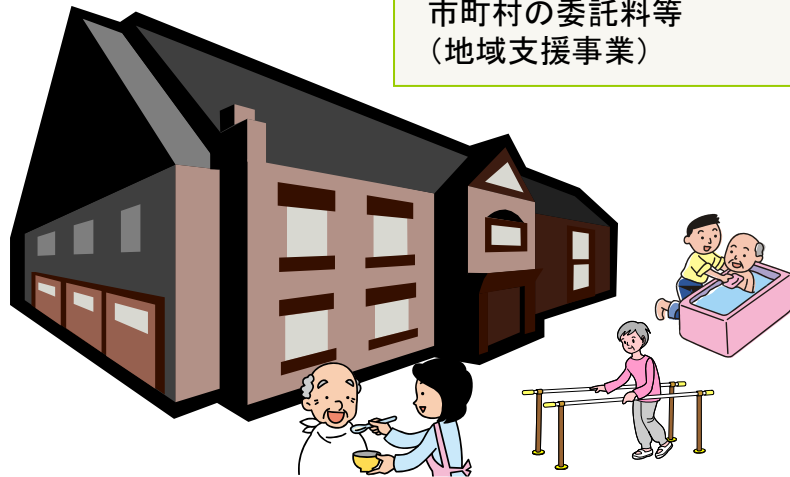
※初年度は、未熟な離職者等への指導の手間を考慮し、生活支援員を2人配置する。

離職者等 5人程度

〔※ 受託法人での雇用継続を図るため、3年間の雇用を認める〕

連携施設等が実施するヘルパー養成研修を受講

・地域の介護事業所等に就職
・または受託法人で雇用継続



2. 障害者の地域活動支援センター等に併設して実施する方法(案)

障害者の地域活動支援センター等にフレキシブル支援センターを併設し、障害者のほかに、支援の必要な地域の高齢者や子ども等を受け入れ、中山間地域における小規模な共生型サービスをモデル的に実施するとともに、地域で雇用を創出する。

既存 障害者の地域活動支援センター(例)
(利用定員10人)

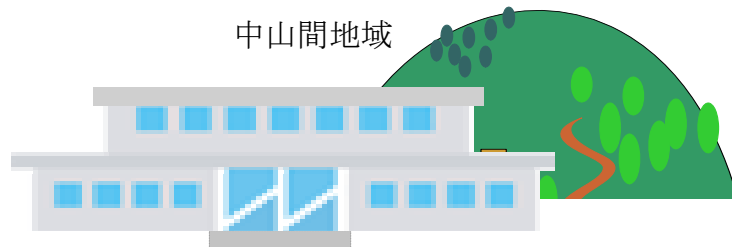
(事業内容)

障害者等を通わせ、創作的活動または生産活動の機会の提供するとともに、社会との交流の促進等を図る。

(利用料) 無料(食事や創作活動の材料費等は実費負担)

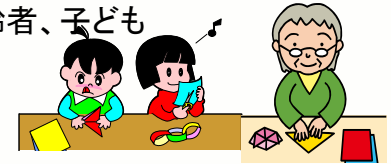
(運営費) 市町村からの運営費補助

(職員配置) 2人(常勤1人、非常勤1人)



フレキシブル支援センター 利用定員10人程度

(対象者) 支援の必要な高齢者、子ども
引きこもりの若者等



(支援内容) 日中の預かり、見守り、介護予防や自立支援に向けた取り組み等を行う。

(利用料) 無料(食事や創作活動の材料費等は実費負担)

(運営費) 市町村からの委託料 年1,500万円程度

(職員配置) コーディネーター1人、生活支援員1人
離職者等 3人程度

市町村社協等が
実施するヘルパー
養成研修を受講

・地域の介護事業
所等に就職
・または受託法人
で雇用継続

3. 市町村社会福祉協議会、NPO法人等の高齢者サロン等を拡充して実施する方法(案)

高齢者サロンや配食サービス等の市町村委託事業を実施している市町村社会福祉協議会、NPO法人等にフレキシブル支援センターを併設し、誰もが集え、住民主体の見守りや生活支援を行う共生型・多機能モデル拠点に拡充するとともに、地域の雇用を創出する。

既存 市町村社会福祉協議会(例)

- 高齢者サロン
 - (事業内容) レクリエーション、創作活動等
 - (実施頻度) 月1~4回程度
 - (利用料) 食事や創作活動の材料費は実費負担
 - (運営費) 市町村の委託料
- 配食サービス
 - (事業内容) 弁当配達による見守り活動
 - (実施頻度) 月1~4回程度
 - (利用料) 300~500円程度
 - (運営費) 市町村の委託料

拡充

フレキシブル支援センター 利用定員20人程度

(対象者) 共生型...高齢者。障害者、子どもなど誰でも

(支援内容) 多機能

- ① 集う...サロン、デイサービス、放課後の児童の居場所
- ② 泊まる...緊急時の宿泊
- ③ 預かる...緊急時の一時預かり
- ④ 訪ねる...配食サービス、見守り、買い物代行
- ⑤ 働く...生活訓練、就労支援
- ⑥ 送る...送迎サービス、外出支援

(利用料) 無料(食事や創作活動の材料費等は実費負担)

(運営費) 市町村からの委託料 1,500万円程度

(運営体制) 住民参画による地域に開かれた持続可能な運営体制

(職員配置) コーディネーター1人、生活支援員1人、

ボランティア(必要人数)
離職者等 3人程度※ コーディネーターの配置は
兼任も認める。市町村社協等が実施
するヘルパー養成研修
を受講・地域の介護事業所等
に就職

地域住民の交流の場・支え合いの拠点

【高齢者】
閉じこもりや虚弱
な人の活動の場【子ども・親】
休日や緊急時
の託児など【若者】
心に悩みを抱える
人の活動の場【障害者】
生活訓練の場
日中活動の場

地域住民の参画による運営体制

市町村社協

民生・児童委員

自治会

ボランティア

人材養成・就労支援に重点を置いた実施例

- 目的**
- 派遣切り・雇い止めによる離職者対策・母子自立支援として新たな就職支援を実施する。
 - 介護従事者の人材確保・育成の観点から、切れ目のない人材の育成と事業所支援策を講じる。
 - 地域の社会資源（社会福祉法人・大学等）と連携したフレキシブルな就労支援システムを構築する。
 - ライフステージに応じた福祉教育の支援を行う。

